

## 平成30年度事業報告

### I. 研究者・芸術家の援助その他(推薦)

1. 平成30年7月1日から8月30日まで当財団ホームページにて翁久允賞の推薦を募った。
2. 平成30年12月7日 第31回翁久允賞を中島淑恵氏(富山大学人文学部教授 富山市在住)に贈賞することを翁久允賞選考委員の全員一致で決定。贈賞理由: 中島淑恵氏は、富山大学ヘルン研究会主催の講演会ならびに国際シンポジウム等を牽引する中心的な存在として、富山県の文化遺産であるヘルン文庫を、国際的・学際的な視野から積極的に活用し、その研究成果やヘルン文庫の存在を、広く普及させている功績。
3. 平成30年12月21日、中島淑恵氏本人の承諾を得て贈賞することを決定。給付金額は30万円。
4. 平成31年1月14日 第31回翁久允賞決定について富山県内のメディアおよび当財団のホーム・ページにプレス・リリースした。翌15日に「北日本新聞」および「富山新聞」が内容を報じた。
5. 平成31年2月3日 第30回翁久允賞贈賞式を富山市立図書館で開催。参加者は約40名。また富山市立図書館と共催で、受賞者である中島淑恵氏の記念講演会「ヘルン文庫とともに」、および同図書館「翁久允文庫」の見学会が行われた。同日夕刻の北日本放送テレビが「KNB news every」で報道し、富山八雲会「ニューズレター」22号、「富山県人」3月号が内容を掲載した。
6. 平成31年3月24日の翁久允賞選定委員会を開催し、2019年度の選考日程に関して、6月22日開催予定の選定委員会で方針を決定することとした。
7. 平成30年度の本事業区分の支出: 343,540円

### II. 奨学金の貸与ならびに給付(翁賞)

1. 平成31年3月初旬 富山県高等学校長協会の定めた翁賞選考要領により富山県内高等学校の卒業生14校15名に賞状および以下の景品を贈った。

人間国宝須賀荘園作 文鎮「魁(さきがけ)」

稗田董平著『筆魂・翁久允の生涯』

2. 平成30年度の該当校は次の通り。

富山県立泊高等学校	富山県立滑川高等学校
富山県立中央農業高等学校	富山県立富山高等学校(2名)
富山県立富山工業高等学校	富山県立富山商業高等学校
富山県立高岡工芸高等学校	富山県立高岡商業高等学校
富山県立氷見高等学校	富山県立砺波高等学校
富山県立砺波工業高等学校	富山県立となみ野高等学校
高岡向陵高等学校	荒井学園新川高等学校

3. 平成30年度の本事業区分の支出: 243,297 円

### III. 翁久允の偉業を後世に伝える事業

1. 当財団が資料収集等の支援をする逸見久美と須田満共同編集による『翁久允年譜・著作目録』の進捗状況については、平成30年1月よりスタンフォード大学フーヴァー研究所が、インターネット上公開した「邦字新聞デジタル・コレクション」により、刊行を一年延期した。理由は、翁久允の著作や参考文献で初出紙誌や掲載日、掲載場所が不明であったものが約800件判明したからである。翁六溪(久允の在米時代の筆名)の著作のカバー率は極めて高いが、久允が残したスクラップブックに残された著作は、シアトル時代の「旭新聞」、「北米時事」、「大北日報」は新聞の原紙が消失しており、未だ照合ができない。ただし、東京大学明治新聞雑誌文庫やアメリカの図書館所蔵の週刊新聞「日米評論」が画像化されたことにより、同紙に出てくる六溪山人や翁六溪名の作品に関する記事により掲載紙や時期が想定できるようになった。逆に言えば、スクラップブックに残された切り抜きが北米西海岸での日系移民文学史上、大変貴重であることが裏づけられた。
2. 平成30年11月初旬に大空社出版に入稿し、平成31年2月初旬に「年譜」の初稿を受け取り再校まで終えた。平成31年3月時点で「書誌」「参考文献」の版組が難航しており、出版が少々遅れる可能性が高い。高志の国文学館での資料調査の経過は、本著には反映されていない。また人名索引は、今回は見送った。
3. 「高志人」「高志」の掲載記事は、翁久允著作については、本著に目録化さ

れているが、その他の記事は、編集の時間的制限から、第17巻(昭和27年)までとした。近い将来、『高志人総目次』を出版したい。

4. 平成30年8月 「北日本新聞」に「吉井勇と高志びとたち」連載を開始した細川光洋氏に吉井勇の翁久允あて書簡の写しなどの資料を提供。8月23日付同紙に「翁久允 雪中の来訪に親愛の情」が掲載される。その後、吉井勇書簡翻刻の協力を受ける。また吉田桂介が1946年に「越中紙社」(現在の桂樹社)の設立に際して、翁久允が山田昌作を紹介したことなどが明らかになった。
5. 平成30年11月 詩人福田正夫主催の文芸雑誌「主観」および関連資料を水野真理子氏に貸与。「主観」には、在米時代に「日米」に連載された小説「紅き日の跡」の改作『道なき道』が掲載され、また「翁久允特集」が発行されている。水野氏は、「異色の小説家・翁久允 -1924～1931-(八)」(「波濤」26巻1月号)に新知見を発表している。
6. 平成30年11月 『大阪府立中之島図書館蔵 川田文庫目録』(1981)、『大阪府立中之島図書館蔵 川田文庫目録(II)』(1981)を受領し、翁久允関係の文献の所在を確認。
7. 平成30年11月23日～24日 八尾町文化協会の会合で越中民謡おわら保存会の創設者川崎順二、林秋路や小谷契月などのご遺族と会い、保存会所蔵の「鱈福帳」の翁久允資料の提供を受ける。
8. 平成31年2月2日 高志の国文学館より、須田満が寄託した資料の目録化の中間報告を受ける。1月31日までの作業ファイルで約7400点の項目が記録されている。立命館大学国際言語文化研究所 翁久允研究会が整理し出版したリストの現物との照合を終え、多くの誤記や訂正がなされている。立命館資料にない日記や通信記録は、リスト化が終わり、現在、翁久允あての書簡類のリスト化に取り掛かる。
9. 平成30年度の本事業区分の支出: 301,268 円

以上

## 平成30年度 定時評議員会・理事会決議・報告事項

### I. 評議員会決議

1. 平成30年度 定時評議員会

- 1) 日時:平成30年6月23日
- 2) 場所:富山電気ビルレストラン
- 3) 決議事項  
第1号議案 議事録の作成者の選出の件  
第2号議案 平成29年度計算書類等の承認の件  
第3号議案 理事の選任 重任選任者は須田満、久  
泉迪雄、八木光昭、木下晶

## II. 理事会決議

1. 平成30年度第1回理事会(決議の省略による)
  - 1) 日:平成29年6月6日
  - 2) 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容  
第1号議案 平成29年度事業報告、事業報告の附属明細書の承認の件  
第2号議案 平成29年度貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表、  
正味財産増減計算書の付属明細書、財産目録承認の件
2. 平成30年度第2回理事会
  - 1) 日時:平成29年6月23日
  - 2) 場所:富山電気ビルレストラン
  - 3) 第1号議案 須田満を代表理事に選出
  - 3) 代表理事による業務執行に関する報告事項
    - (1)平成30年度事業計画、収支予算について(理事会承認済み)
    - (2)平成30年度研究助成金(翁久允賞)について
    - (3)平成30年度翁賞および翁久允の偉業普及活動について
3. 平成30年度第3回理事会
  - 1) 日時:平成30年3月24日 14時～15時
  - 2) 場所:公益財団法人翁久允財団事務所
  - 3) 決議事項  
第1号議案 平成31年度事業計画書及び収支予算

書等の承認の件

第2号議案 平成31年度定時評議委員会の日時及び  
場所並びに目的である事項等』の決定の件

- 4) 代表理事による業務執行に関する報告事項
  - (1) 平成30年度予算進捗と着地見込みについて
  - (2) 平成30年度研究助成金(翁久允賞)について
  - (3) 平成30年度翁賞および翁久允の偉業普及活動に  
ついて

以上